

生駒市景観形成基本計画（改訂）の検討内容

「景観形成基本計画（改訂）」を策定していくために、以下の内容の検討が必要と考えます（各項がおおむね計画の章立てに当たります）。

（１）生駒市の景観の現状の把握と課題の整理

- 生駒市において今後目指すべき景観形成のあり方（理念・目標・方針）を考える上で、まず、現在の生駒市の景観の現状を把握します。
- 景観形成基本計画（現行）以後のまちづくりの進展や、景観の変化に着目し、現状を明らかにするとともに、景観形成に当たっての課題を整理します。

<現状と課題を考える上での視点>

【①空間からとらえる】

生駒市の景観の大きな構造は「自然景観」「田園景観」「市街地景観」であり、それを基本としながら、自然・地形や、軸・拠点などの構造、土地利用等に基づく現状を把握します。

【②暮らしからとらえる】

景観は、日々の市民・事業者の暮らしの中で育まれていくものであり、景観のなり立ちや、そこで営まれてきた暮らしと景観との関わりを把握し、暮らしの中で取り組む実現方策へとつなげていきます。

【③活動からとらえる】

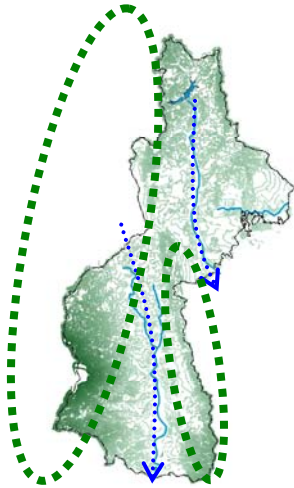
景観を良くしていくことにつながるさまざまな市内のまちづくり活動の状況や、公共整備の取り組み状況などを把握し、それらをさらに広げていくための実現方策へとつなげていきます。

（２）生駒市らしい景観形成のあり方（理念・目標・方針）の設定

- 「都市景観形成ガイドプラン」「景観形成基本計画（現行）」の到達点を踏まえた上で、現状と課題をもとに、今後生駒市で目指すべき景観形成のあり方（理念・目標・方針）を設定します。
- 「景観計画」で基本理念・基本目標・基本方針が設定されています（※資料2を参照）が、特に基本理念については現状や課題を押さえた上で再度ふさわしいあり方を議論していくこととします。

＜景観形成のあり方を考える上での視点＞

「生駒らしい景観形成のあり方」を考える上で、景観の構造から3つの視点で整理していくことが考えられます。

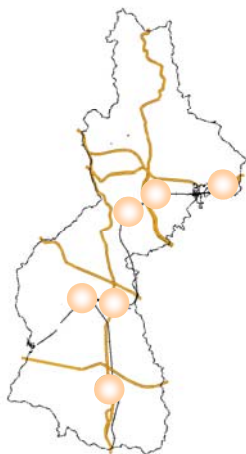


①生駒を特徴付ける骨格の景観

生駒山系・矢田丘陵の山並み、竜田川・富雄川などの川など、生駒の骨格を構成している景観

→「生駒らしい景観」として皆が評価しており、共有されやすいもので、引き続きその良さを保っていく、伸長させていくための方法を考えていく必要があります。

→骨格を構成する自然環境をどのように保全していくのか、総合的に方策を考えていく必要があります。



②拠点（駅前、開発地区など）や軸（幹線道路など）の景観

鉄道駅前や学研都市など、拠点として整備が進められている景観や、それらをつなぐ幹線道路などの軸の景観

→計画や事業の中で景観が形づくられるものであり、景観を意識したあり方を考えていく必要があります。

→事業活動・商業活動が行われる場所であり、それらとの調和のあり方を考えていく必要があります。



③住宅地や田園集落などの生活の景観（生活景）

住宅地や田園集落など、普段の生活の場の多様な景観

→お住まいの方々の暮らしと密接に関わっており、暮らしの中で育まれていくものです。

→世代や立場によって暮らし方（ライフスタイル）もさまざまであり、その善し悪しを単純に決めることは難しく、熟議の中で価値観を共有していく必要があります。



(※図、写真はイメージ)

(3) 景観形成の推進方策の検討

- 生駒市らしい景観形成のあり方（理念・目標・方針）に沿って、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしつつ、協働を進めながら実現していくための景観まちづくりの推進方策を検討します。

<「推進方策」を考える上での視点>

①「規制」

景観形成の推進方策の中での景観計画による「規制」の位置付けを確認します。

（例えば）

- ・「景観計画」による規制の取組 など

②「誘導」

良好な景観の形成に向けてどう「誘導」を図っていくか、を考える必要があります。

（例えば）

- ・市民や事業者などがより良い景観づくりに取り組んでいくモチベーションを高める取組（良好な事例の表彰などのインセンティブほか）
- ・公共事業による景観形成の方策など、行政として景観形成を先導していくための取組
- ・環境や農林など他の施策との連携方策 など

③「啓発」

基本計画で位置付けた理念や目標、方針、すなわち「生駒らしい景観（づくり）」をどのように共有していくのか、その「啓発」の方法を考えていく必要があります。

（例えば）

- ・「生駒らしい景観（づくり）」を浸透させるための取組 など

④「支援」

市民・事業者が主体的に取り組める協働の環境をどう整え、「支援」していくのか、を考えていく必要があります。

（例えば）

- ・地区の住民による主体的な景観づくりへの支援策（協定制度などのツールの用意、活動支援策ほか） など

(4) 景観形成の推進体制の検討

- 推進方策を実現していく上で必要となる推進体制（主体のあり方、主体間の連携のあり方、それらを支えるしくみなど）を検討します。